

令和 7年度

事務事業評価表 ( 令和 6年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		環境学習事業					事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	050803001055	
総合計画の施策名		0508	生活環境の保全				単独/補助	単独	所属課	030301 生活環境課	
政策体系	政策名	05	快適な暮らしのまちづくり						課長名		
	施策名	08	生活環境の保全						グループ	環境公害対策G	
	手段名	03	③環境保全活動の推進						担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				
	01	04	01	03	02	00	環境衛生事業				
法令根拠							単年度繰返し ( 令和 3 年度～)				
						☞ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入					

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	市内児童を対象に体験型の環境学習会を展開し、自然環境の保全、水質浄化対策、地球温暖化防止など学び、環境に対する興味を育むとともに、未来の環境マイスターを育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験型環境学習会の企画 (講師派遣、チラシ作成、周知、車準備)</li> <li>事前受付 (傷害保険加入、体験場所の準備)</li> <li>開催 (講師打合せ・進行管理・アンケート実施)</li> <li>評価、改善 (アンケート集計、反省点洗い出し、次回企画検討)</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
環境学習会の企画・運営	学習会開催数	回	2.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	市内の児童 (4~6年) 数	人	854.00	817.00	800.00	780.00	760.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
児童	参加児童 (アンケート提出者)	人	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
環境マイスターの育成	アンケート満足度割合	%	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
	参加割合	%	4.70	4.90	4.90	4.90	4.90
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	内訳	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		使用料・手数料	千円	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0			
		一般財源	千円	60	60	60			
	事業費計 (A)	千円	60	60	60				
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)				07年度事業費 予算 (千円)			
				合計	60		合計	60

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	霞ヶ浦湖上体験学習会	霞ヶ浦湖上体験学習会	霞ヶ浦湖上体験学習会

事務事業名	環境学習事業	事務事業No.	50803001055	所属課	生活環境課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 霞ヶ浦湖上体験学習会を毎年募集しているが学校単位では募集がないため、個別に興味のある児童に対し募集を行う方法の転換であると感じている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 貴重な機会であるため、続けてほしいとの要望がある。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <p>環境問題の意識向上ため環境学習の充実、目指す姿を実現する手段に上げており施策に結びついている。</p>
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <p>環境問題は市だけで解決するものではないため、その環境学習は公共で行うことは妥当である。</p>
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <p>今後も事業を行うことで関心度増加に結び付く。</p>
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <p>これからの事業のため廃止・休止に影響がある。</p>
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる <p>霞ヶ浦問題協議会参画事業の一部事業(霞ヶ浦湖上体験学習・霞ヶ浦探検隊)</p>
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <p>必要最小減の経費で運営する予定しているため削減の余地はない。</p>
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <p>市内児童に対し募集を行うため公平である。</p>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 引き続き参加者の満足度が高まるイベントを開催していく。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 これまで以上に児童が参加しやすいイベントを考案する必要がある。																								
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果		②																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B                 A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄	
--	--	---	--